

54-1 次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和53年11月

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9

SE

54-1

15102



5.4年1次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	
101 稲 作	4	フィリピン	有	1	121 農業機械	1	マレーシア			
	1	フィリピン	有	2		2	モロッコ			
	1	バングラデシュ	有	3		2	マラウイ			
	5	バングラデシュ	有	4		3	タンザニア			
	1	バングラデシュ	有	5		3	タンザニア			
	1	ネパール	有	6		1	マレーシア			
	3	ケニア				1	バングラデシュ	有	21	
	1	ガーナ				1	バングラデシュ	有	22	
	102 食用作物	1	フィリピン	有		7	2	バングラデシュ	有	23
		1	パラグアイ				1	バングラデシュ	有	24
1		パラグアイ			5	バングラデシュ	有	25		
10302 野 菜	1	フィリピン	有	8	2	タンザニア	有	26		
	1	フィリピン	有	9	1	ガーナ				
	1	マレーシア	有	10	1	リベリア				
	1	バングラデシュ	有	11	1	パラグアイ				
	1	バングラデシュ	有	12	1	パラグアイ				
	1	バングラデシュ	有	13	13001 作物病理	1	パラグアイ			
	1	バングラデシュ	有	14	131 家畜飼育	3	フィリピン	有	27	
	1	バングラデシュ	有	15	1	フィリピン	有	28		
	1	バングラデシュ	有	16	1	バングラデシュ	有	29		
	1	ネパール	有	17	1	マラウイ				
	1	ネパール	有	17	1	パラグアイ				
	1	シリア			132 養 鶏	1	バングラデシュ	有	30	
	5	ケニア			1	ザンビア	有	31		
	2	ザンビア			1	ザンビア				
	1	パラグアイ			135 獣 医 師	2	シリア	有	32	
	1	西サモア	有	17-1	3	ザンビア				
	10303 果 樹	1	バングラデシュ	有	18	3	ザンビア			
2		ネパール			6	ザンビア				
2		ケニア			14002 漁業組合	1	ガーナ			
105 き の こ	1	バングラデシュ	有	19	160 森林経営	1	フィリピン	有	33	
115 土 壌 肥 料	2	タンザニア			16003 生態調査	1	パラグアイ			
	2	タンザニア	有	20	170 漁具漁法	3	フィリピン	有	33~1	
	1	パラグアイ			1	西サモア	有	34		
120 農業土木	1	マレーシア			171 養 殖	1	シリア			

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
19001 農林統計	1	ネバール				1	西サモア	有	52-1
201 陶磁器	1	ホンジュラス							
210 竹工芸	1	バングラデシュ	有	35	350 自動車整備	1	マレーシア	有	53
	1	ホンジュラス				1	マレーシア	有	54
220 板 金	1	フィリピン	有	36		1	モロッコ	有	55
	1	モロッコ				1	ケニア	有	56
311 工作機械	1	フィリピン	有	37		3	ケニア		
	1	マレーシア				3	ケニア	有	57
	4	モロッコ	有	38		3	ケニア		
	1	モロッコ	有	38-1		1	マラウイ	有	58
312 冷凍機器	1	フィリピン	有	39		1	ザンビア		
	2	マレーシア	有	39-1		1	ガーナ		
	1	マラウイ	有	40		1	西サモア	有	59
	1	トンガ	有	41	361 電話線路	2	ケニア		
31502 視聴覚機器	1	西サモア	有	42		1	ケニア		
320 電気工事	1	マレーシア			363 通信電力	1	ケニア		
	3	ケニア			370 搬 送	1	ザンビア	有	60
321 電気機器	1	フィリピン	有	43	381 無線通信機	5	ザンビア	有	61
	1	フィリピン	有	44		3	ザンビア	有	62
	1	フィリピン	有	45		1	マラウイ		
	1	モロッコ			401 土木設計	2	モロッコ	有	63
	1	マラウイ	有	46		1	マラウイ		
322 テレビ修理	1	フィリピン	有	47		1	ガーナ		
	1	フィリピン	有	48		1	ガーナ		
	1	マレーシア			402 土木施工	2	マレーシア		
	1	マレーシア				1	マラウイ	有	64
	1	モロッコ			403 測 量	1	ネバール	有	65
	2	チュニジア	有	49		1	ネバール	有	66
	1	タンザニア	有	50		2	モロッコ	有	67
	1	リベリア				7	ケニア		
32203 電子計算機	1	マラウイ				3	ケニア		
330 建設機械	1	ケニア			410 建 築	1	モロッコ	有	68
	1	ケニア	有	51		3	モロッコ	有	69
	1	タンザニア				1	モロッコ	有	70
	2	マラウイ				2	モロッコ	有	71
340 船舶機関	1	ケニア				2	ケニア		
	4	タンザニア	有	52		2	ケニア		
	1	ガーナ				1	マラウイ	有	72

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
420 造 園	1	西 サモア	有	72-1	660 美 術	1	ホンジュラス	有	90
	1	西 サモア	有	73		1	ホンジュラス	有	91
	2	モロッコ	有	74		1	ホンジュラス		
	16	タンザニア	有	75		3	ボリビア		
501 医 師	2	チュニジア	有	76	782 理数科教師	1	ホンジュラス		
510 看護婦	1	ネパール	有	77	10	ケニア	有	92	
	1	ネパール	有	78	13	マラウイ	有	93	
51006 助産婦	1	ネパール	有	79	10	ガナナ	有	94	
	1	ネパール			2	ガナナ	有	95	
	1	ネパール			78504 体操競技	1	ネパール		
	2	モロッコ	有	80	1	チュニジア	有	96	
	1	チュニジア	有	81	78505 水 泳	1	チュニジア	有	97
	4	マラウイ	有	82	1	モロッコ	有	98	
	51007 保健婦	1	ネパール	有	83	1	ホンジュラス		
	521 臨床検査師	2	マラウイ			1	コスタリカ	有	99
	523 作業療法士	2	マラウイ			1	ボリビア		
	524 理学療法士	4	コスタリカ	有	84	78507 バレーボール	1	ネパール	有
525 薬剤師	2	マラウイ			1	チュニジア	有	101	
610 司 書	1	パラグアイ			1	ザンビア			
611 秘 書	1	チュニジア	有	85	1	ボリビア			
	1	モロッコ			78508 バスケットボール	1	エルサルバドル		
	1	ザンビア			78509 野 球	1	ホンジュラス		
620 プログラマー	1	マラウイ			1	コスタリカ			
640 家 政	1	バングラデシュ	有	86	78601 柔 道	1	フィリピン	有	102
	1	マレーシア			1	ネパール	有	103	
64005 婦人子供服	1	マレーシア			1	チュニジア	有	104	
	1	ガナナ			1	モロッコ	有	105	
64006 美容師	1	マレーシア			1	ケニア	有	106	
650 音 楽	1	ホンジュラス	有	87	3	ザンビア	有	107	
	1	ホンジュラス	有	88	1	エルサルバドル			
	1	ホンジュラス	有	89	1	ボリビア			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年10月8日

101 稲 作

調査者氏名 神谷弘司

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Rice Culture	(男) 4 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作 - A	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限53年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Agricultural Credit Administration (ACA)
 (日本語): 農業信用協同

ロ. 隊員勤務先名称: Dagat-Kidawao Compact farm Cluster 日本語名称 (ダガット-キダワオコンパクトファームクラスター) 群
 所在地: Dagat-Kidawao, Valencia, Bukidnon 主要都市からの距離 (ダバオより45キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 現在この cluster には 4 の Compact farm の組織があり、今後の 4 の Compact farm を中心に統合され、一つの大きな Compact farm cluster に組織していくことになり、現在の組織内容には 2 種類の別々のグループが組織されているが、一帯を

ニ. 設備概要: 当り平均面積は約 2.4 Ha, ACA ロ-V の実行額は平均 2850 ペソと健全な Compact farm とする。

(2) 隊員の業務内容:

1 の Compact farm (C.F.) を約 10 ha のゾーンに分け、各ゾーンはゾーンリーダーを置き、農作業はゾーン内で共同で行われている。5~6 のゾーンで 1 の C.F. が形成され、その上には会計係とか C.F. マネージャーがいる。約 4 の C.F. をまとめたゾーンリーダーが、農業信用協同、農務局、農協等の機関と連絡をとっている。組織的に活動しているが、内容は農業技術の基礎的なことに集中している。

- ① 隊員の業務上の地位: 農業技術普及員。
- ② ③ 技術の範囲、業務の状態: 稲作の基礎技術指導、用水灌整備、排水溝の整備、稲作のみなぎり、農業一般の技術 (対象: ソルガム類 以外) として導入する。C.F. 内の農家を対象に稲作指導を中心に業務が向けられる。
- ④ 対象者のポータレート: C.F. 内の農家が対象者でポータレートはいい。
- ⑤ 現地利用できる機械: 特になし。
- ⑥ 隊員数: 4 人。
- ⑦ 使用言語: 英語、他力ノ語。

* 20 日ほどは NIA が中心となり "5 days Training on Intensive Agriculture for Irrigation System" というセミナーを実施しており C.F. の Zone Leader が参加している。またこの時に Philippine Packing Corporation で農民の協同組合を定立する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: C.F. に関しては ACA の 2 人、National Irrigation Administration からの技術者が指導に当たっているが、専門知識の乏し、町から遠いので、より詳しい指導が行われること。現在当地での収穫は 60~70 cavs/Ha であり、この増収が期待されている。適切な指導があれば 100~150 cavs/Ha の収穫を得ることが難しいと期待されている。

(新追加事項)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校卒業以上で実務経験 3~4 年以上、
 大学卒業程度であれば実務経験 2 年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年10月6日

101 稲 作

調査者氏名 神谷弘司
鈴木進一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Rice Culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作 - A, B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Government and Community Development
(日本語): 自治開発省 (MLGCD)

ロ. 隊員勤務先名称: MLGCD Provincial Development office 日本語名称: 自治開発省カガリヤ州事務所
所在地: TABUK, KALINGA-APAYAO 主要都市からの距離: カガリヤより70キロ

ハ. 事業規模及び内容: MLGCDを以ては地域社会の開發、発展を担当し、中央政府と地方自治体の調整を行ない、地域社会の開發計画を作成する。技術者としては、中央、地方、地方自治体の技術者がこれに関与する。

ニ. 設備概要: 114農場には任務遂行上必要な設備は十分には言えないが整っている。

(2) 隊員の業務内容: 隊員の任務は普及活動と JOCV-MLGCD-Provincial Government 共同出資で完成させたカガリヤ州114農場(農業実験場)の管理運営である。

農場における具体的には当地に於ける優良品種の選抜、採種、選別、試験栽培調査である。

① 隊員の業務上の地位: 稲作普及指導員

② 技術の範囲: 稲作全般に亘る。特に114農場に於ける採種、当地に於ける稲作試験の研究等。

③ 業務の形態: 一般農家を対象とした普及活動及び114農場に於ける技術者(BAEx...農業普及員、BPI...植物検定員)に対する技術指導。

④ 対象者Bからレポート等: 普及活動の対象一般農民は他州の農民と比べると一般的に低い。農場稲作部門ではBAExのレポートがカガリヤレポートとなる。稲作技術に関してカガリヤの知識が乏しく資料的にも乏しい。28年

⑤ 現地で利用可能な機械: 大型トラクター、耕耘機、スプラヤー、脱穀機、水揚ポンプ、EV311、稲刈りカッター、水分測定器等。

⑥ 母国語等: なし。

⑦ 使用言語: 英語、バタナ語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鈴木進一隊員(52/前、稲作)の交替要請。

カガリヤ、ピラオ州試験農場の確立と共に当地の稲作振興が期待されている。その他、当地の農民の期待も大きいのでカガリヤに於ける稲作の仕事となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

家が農家で小工の時稲作を見過ごした人直ぐは農業高校卒で十分であるか、もしなければ短大卒以上で実務経験が必須である。(最低2年位)
可能であれば農業改良普及員の資格を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 5 月 15 日

101 稲 作

調査者氏名 飯塚 駿介

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Agricultural Extension	(男) 1 人	訓練開始 53 年 10 月
	(日本語) 農業普及	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 54 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Integrated Rural Development Programme. Ministry of Agriculture			
イ. 配属先名称 (現地公用語): (I.R.D.P.)			
(日本語): 総合農村開発計画局.			
ロ. 隊員勤務先名称: Rural Development Training Institute (日本語名称 (農村開発訓練所))			
所在地: P.O. Khadinnaoga Sylhet. 主要都市からの距離 (キロより 10 キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 農業協同組合の検査官及び会計士を 2~3 月周期で 毎回 60~80 名を対象に組合至管全搬にわたる講義中心の訓練を以て I.R.D.P. 唯一の訓練所である。			
ニ. 設備概要: 訓練生宿舎 (150 名収容可) 教室 講堂 食堂 職員官舎 電気水道設備.			
(2) 隊員の業務内容: 訓練所内において水稲約 1.2 エーカーと野菜栽培を訓練生を対象に指導し若干の熱帯果樹 (ブアバ、レモン、ココナツ、オレンジ等) の管理を担当する。又訓練所近郊農家において農業組合員を対象に普及活動 (特に水稲、果樹) するものが主な任務となる。			
隊員の地位としては訓練生に対しては農業技術指導教官、農村に於ては農業普及員となる。訓練所内において一般作物の管理及び週 1 回程度の実習指導を担当教官がカウンターパートとなるが農村では無い。			
使用機材としては特に無いが今の所、トラクションポンプの借用が可能で消毒用ポンプは入手出来る。又この地域において I.V.S. (International Volunteer Service) が農村に大規模にわたり援助活動を行っており、言葉はバングラ語中心に英語。			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業協同組合の充実により農村に直接した方向での支援を期待しており特にシレット地域では紅茶を除く換金作物生産の意向を以て一般農民に対し総合的視野 (稲、野菜、果樹、養魚、畜産等) からその意識を高めて普及させて行きたい方針がある。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
配属先の性格上、農業普及員の資格を持ち大卒以上、稲大卒 3 年以上が望ましい。実務経験は長、稲、野菜、果樹の栽培全般等に実践した者が好ましい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年5月3日

101 稲 作

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Rice Culture	(男) 5人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲 作	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Krishi Bank (BKB), Ministry of Finance
(日本語): 大蔵省 バングラディシュ農業銀行

ロ. 隊員勤務先名称: BKB Regional Office 日本語名称 (バングラディシュ農業銀行地方事務所)
所在地: 新ジャムナプール、ジャムナプール 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BKBは独立後、以前の農業開発財政公団と旧農業銀行が合併して設立された国立銀行で、現在12の地方事務所、176の支店を持ち、職員約4000人を擁する。政府資金に基いたる農業、果樹、林業、送水施設、灌漑、肥料、農具、農民に対する短期(1年)、中期(1~5年)、長期(5年以上)のローンを貸し付けを行う。

ニ. 設備概要: 配属先には稲作専用などの設備は無いが、数少ない農民の中には耕耘機、トラクター、水田用ポンプ等の農業機械を所有している者もいる。

(2) 隊員の業務内容: 以下に示す日本政府援助で輸入された上述農業機械を導入し、地方の農民に対する稲作を中心とした農業全般に関する巡回指導を行う。

1) 業務上の地位: 地方事務所の長下より Chief Manager の下で vice としてサポート

2) 技術の範囲: 当地農業の中心は稲作であり、稲作を中心とした農業機械も含めた農業に関する技術全般の指導と技術。

3) 業務の形態: 農民の生活向上のための巡回指導。

4) 対象者及びアプローチ: 直接の対象者は全くと教育を受けた農民で Agronomist などの地方事務所では Agronomist がアプローチの役割を担う。

5) 現地を利用可能な材料: 日本と同等と比べると全くと無いに等しい。

6) 取組みの手段: 地方事務所を通じて行う。

7) 使用する言語: ベンガル語。但し英語も頻繁に使用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 環境の厳しい条件下でも生産性の成果を上げることが過去の隊員の活動から正しく認識され、JOCV はぜひ送り出すだろうという強い期待が持たれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の當りおと社会通念により短大卒業程度の学歴(卒業後(1年以上)の実務経験)
実務経験は長ければ長い程又農業機械の知識・技術があれば、好ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

101 稲 作

記入昭和53年 9月23日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) <i>Agricultural Cooperative</i>	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業協同組合	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Integrated Rural Development Programme, Ministry of LGRD*

(日本語): *Cooperatives* 地方政府農村開発組合省 総合農村開発計画

ロ. 隊員勤務先名称: *IRDP Rangpur* 日本語名称 (IRDPランプール支庁)

所在地: *P.O. Alam Nagar, Dist. Rangpur* 主要都市からの距離 (ランプール市内キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ランプール県の約15の郡で各部中央農協連合会と末端農協の間に
 村会、ローン事務所、2-セツの共同手押ボツ配布事務所等が行なわれているが、IRDPラ
 ンプール支庁は District Project Director (支庁長)の下でこれらの事務所の監督・指導に当る。

ニ. 設備概要: IRDPランプール支庁の事務所以外、特になし。

(2) 隊員の業務内容: 現地の農協活動は殆どはローンで現地農民の農協に対する理解

度は極めて低い。しかし KSS (末端農協) の関係者の中には熱心な Manager (事務所長) も少数ながらいる。既に一部の KSS で野菜・果物販売、養蚕、小売販売店、青年協同組合、夜間学校等の活動が始まっているので、隊員はこのような熱心な人と村の発展のために KSS の将来計画を立て実行に当る。

イ. 事務所上の地位: District Project Director の直属の下

ロ. 技術の範囲: 耕作、野菜 (アワズ、カボチャ、スカタ、トコ、トコ等)、養蚕、養鶏等農業一般

ハ. 事務所形態: KSS とは同一人同団体と等しい上から KSS の組織力と関係する

ニ. 対象者及びカウチング: 対象は KSS の組合員で、男子は無学から大学卒まで、(無学の若者、定職のある者が多く、年令は若者から老人まで幅広い。カウチングにはない)

ホ. 才力の人材の確保: 近くに JOCV 隊員がいるが IRDP ランプールにはいない。

ヘ. 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地では農協運動の歴史が浅く、農業技術の程度も低い。

IRDP の現在のスタッフの主な事務所はローン、村会事務所、実際に農民が必要としている若 KSS の将来計画、事業、農業普及の技術面が弱い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 短大卒業以上の学歴 (1年以上) の業務経験が必要

農業改良普及の資格を持ち、農村開発の関心を持ち、農民を愛する人が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 7 月 25 日

101 稲 作

調査者氏名 寺田好男
木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) RICE PRODUCTION	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 稲作(アシタ講師)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限54年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Education, Tribhuvan University,

1. 配属先名称 (現地公用語): Institute of Agriculture and Animal Science.

(日本語): 教育省・トリブバン大学・農業畜産学部

ロ. 隊員勤務先名称: Central Campus. 日本語名称 (同学部中央校舎)

所在地: Rampur, Chitawan-Dist., Narayani-zone. 主要都市からの距離バネプルより約7キロ

ハ. 事業規模及び内容: 同学部には (Pre-Professional Agri.)(Certificate in Agri.)(Diploma in Agri. Education.)(Diploma in Agri.)の各コースがある。現在学生数は288名、教官28名、各課の管理部門の職員126名、圃場管理作業員(Field Man)約20名である。

ニ. 設備概要: 教室、講堂、学生宿舎、学生食堂、教職員官舎等があるが、いまだ充分なものではなく、年次計画に従って充実に予定であり、現在は学生宿舎、職員官舎を建設中である。

(2) 隊員の業務内容: 同大学構内の農場において Farm Manager 等と共に稲作部門(含、麦作等の穀物)の生産活動を行いながら学生の実習指導、訓練にも従事する。その他に稲作部門の各種栽培試験研究を行うこともある。更に農業機械(トラクタの耕運、~~■~~トラクタを使う2の脱穀作業の実演指導整備)についても指導を行うことに~~■~~なる。

① 隊員の業務上の地位: 技術の程度により相対的差も異なるとは予想されるが Assistant Lecturer (アシタ講師) となる。(Gazetted III class officer と同等である。)

② 技術の範囲: 稲作(穀物栽培)の実技と理論に精通していることが望ましい。農業機械についても技術を要する。

③ 業務形態: 農場において稲作(含穀物栽培)を行いながら学生の实習指導訓練を行うことになる。更に農業機械~~■~~機の活用、耕運、脱穀作業等の実演指導とハドトラクタなどの整備も範囲に入る。余裕があれば各教官も担当する Research Programme にも参加することになる。

④ 対象者及びカテゴリー: 農場長、教官及び Field Man、学生もその対象となる。技術水準は高いと見られる。但し、教官(教授講師)は外国留学経験者が居るので、理論的には高度でも実技は普通以下と見る。

⑤ 現地で利用出来る機械: 小農具はたいがい揃っているが充分とは見えない。他は野菜栽培隊員受入希望調査表に添付した写真集及び別紙を参照願いたい。

⑥ 外国人の配置状況: アメリカ人教授1名(教育学)、イタ人教授1名(Crop Production)外人地~~■~~9名。他にアメリカンピースコ2名(夫婦)夫は Farm Management、妻は英語講師。

⑦ 使用する言語はネパール語。専門用語は英語を必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本人は、アメリカ、カナダなどの大型農法ではなく集約農法と~~■~~の(革新)技術を良く知っている。従って、その領域の技術をネパールに応用し、これを学生に指導してくれることを期待する。これは大変有意義なことである。(学部長談)

なお、同学部では現在、指導者を養成中であるが現場指導者が少ないことも本要請の大きな背景ともなっている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学農学部卒業で少なくとも稲作(穀物栽培)について2~3年の実務経験を要す。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

102 食用作物

記入昭和53年10月10日

神谷弘司

調査者氏名

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Food Crops	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 食用作物(採種) - B.C	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial State College
 (日本語): ドンマリヤノマルコス記念州立大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)

所在地: Bacustan, La Union 主要都市からの距離 約25キロ

ハ. 事業規模及び内容: ラウニオン州を中心に農業技術者、農業学校の先生を養成している学校で、高校部、大学部、短大部に分れて、生徒総数約3500名、教師(パートも含めて)約120名である。農業科、農業教育科、畜産飼育科、森林科、農業土木科等がある(農業関係のみ)。

ニ. 設備概要: 十分には設備が農業分野に偏りすぎている程度とされている。他の学部は不明である。今年度予算 600万円

(2) 隊員の業務内容:

State College において農業関係から主として隊員は当該の高校部での授業と採種とを兼ねて実施する。

① 隊員の業務上の地位: テクニカルアドバイザー

② 技術上の範囲: 野菜、稲、ユウ、豆類の採種、種子生産、育種研究を行う。

③ 業務の形態: 当該はラウニオン州(外々多少あり)の各種種子の供給源として、DAEA(農業局)、DPI(植物産業局)などとも協力して州内の種子増産に力を注いでいる。学校の圃場(Seed production)用は2ha 左右は学校から距離がある。2ha 以上は211-11-11 育種専攻の生徒と一緒に採種、育種研究を行う。

④ 対象者等: 協力パートナーは211-11-11 MR. Sita Apolinario (MSAC ABSAE 卒業し1973年初本校に経来している) 非常に熱心で様々な隊員の活動は意味を成している。また、農業技術者 JOCU 隊員も協力パートナーであった。

⑤ 現地で利用すべき機械: 一般農業器具、水田器具等。

⑥ 圃場に在りて働く国人: 5人

⑦ 使用する言語: 英語
 なお、当該以外の収入は予算と22 (1978年) 約5000円用意されている

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規採用

ラウニオン州知事室の中で関係している軍野大輔隊員(40%前、編作)が本業の都合で当該に専任指導員として来てくれることになり、今回の派遣に決まった。今回は稲、野菜、一般作物等広く栽培、研究するのを希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学(農学系)以上の人が望ましい。特に育種、採種の方に精通していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 53 年 4 月 10 日

調査者氏名 神谷 弘 司
高橋 順 二

フィリピン共和国

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園芸作物(野菜類)-A, B	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Local Government and Community Development (DLGCD)
(日本語): 地方自治南務省

ロ. 隊員勤務先名称: DLGCD Provincial office 日本語名称 (カリガバニア州事務所)
所在地: Tabuk, Kalinga-Apayao 主要都市からの距離 (タラサより 60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本で(自治省に相当), 大きい(リージョン)単位の仕事から, 1. はバヤオ(村)単位の仕事までしている。

ニ. 設備概要: 州オフィス 1ヶ所, 他に各町にオフィス持つ。

(2) 隊員の業務内容: 現在建設中の州立農業試験場への協力及び州内の Extension work が中心。

- ① 隊員の業務上の地位: テクニシャン。
- ② 業務の範囲: 当農場内での野菜栽培の Demonstration と種子生産及び州内の野菜栽培の Extension work が中心。副次的に稲作, 果樹栽培の世話もしている。
- ③ 業務の形態: 上記と同じ。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準・学歴及び年齢: 試験場内でのカウンターパートは BPI と BAEF から選定した野菜, 稲作 1名づつを予定している。Extension worker の方はカウンターパートとして対象農家のみ。
- ⑤ 現地で利用できる機材: ハンドトラック一両。
- ⑥ 取場に於ける主要な人等: なし。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 高橋順二=隊員(1/2 前期組 野菜)の交替要請。
州立農業試験場を軌道に入せ州内の野菜の供給源(種子的に)にならざる協力が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
① 農業短大卒業以上の人。 ② 実務経験3年以上。 ③ 昇任時年齢25才以上。
4. 自動車運転免許証を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 10 月 5 日

10302 野 菜

調査者氏名 高橋勝茂

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
フィリピン共和国	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 54 年 4 月
	(日本語) 園芸作物(野菜)-B,A	(女) 人	派遣予定 54 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mambusao Agricultural and Technical College
(日本語): マンブサオ 農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: Mambusao, Capiz 主要都市からの距離 (口入より 50 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 4年制の農業科, 農業教育科, 家庭科及び修士コース(2年制)を有する農科大学でほかに2年制の農業技術者コースと農林業コース, また4年制の高校が附属している。学生数 1,600 人, 教員数 71 人。本年度予算 2 億 5 千万円(約 64 億円)

ニ. 設備概要: 農地を含む大学の敷地 120 ha, その内園芸用圃場 9 ha, その他大学の所有地 約 3000 ha (山林, 未開拓), 大型トラクター1台(50馬力), ハブトラクター2台, 毎系観測用施設

(2) 隊員の業務内容: シェッドハウス(育苗用)等基本的施設はあるが実験研究室はない。現在園芸用圃場は学生の実習用として使用されており一般的野菜が栽培されている。他ローカル野菜(ササゲ, 緑豆, 大豆等)の種子生産が若干行われている。同大学は将来採種部門を拡充し, カピス州全域に主要野菜の種子を販売する計画を持っており, 隊員の主要業務は園芸部門の教官をカウンターパートとして学生に野菜栽培の実験実習指導を行うと共に採種部門の拡充計画の策定及びその運営管理を行うこととなる。

- ① 隊員の業務上の地位: 園芸部門のテクニカルアドバイザー
- ② 技術の範囲: 野菜栽培の一般的知識及び技術, 並に採種の基本的知識(ローカル品種の採種が中心となるので交配の技術は必要ない)
- ③ 業務の形態: 上述のとおり
- ④ カウンターパートの技術水準: カウンターパートとなる教官は男 30 才, 大卒, 経験 7 年
- ⑤ 現地で利用できる機材: 上記(1)ニ. に記載したトラクターはあるが農場全体で使用するもので水牛犁等現地農具を活用する必要はある。
- ⑥ オの3国人専任者: 米國平和部隊女性隊員1名がインストラクターとして生物学等基礎学科を履修している。
- ⑦ 使用する言語: 一般的にはイロノ語 学校では英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: [新期要請]
大学側としては将来国立の総合大学を目指して, 現在それに伴う施設の拡充を行なっているが各部門の現場運営にあたる人材が不足しており協力隊にその補填役を求められてきたものである。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
- ① 学歴: (大卒) (農学部農学科) 作物及び野菜を専攻した人が望ましい。
 - ② 取得資格: 特になし (英語の基礎学力がある人)
 - ③ 実務経験: 大卒後少なくとも野菜栽培一般の実務を一年以上経験した人, また作物栽培(稲作)も経験していることが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 62 年 10 月 28 日

調査者氏名 八林明子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Vegetable growing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培 A	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Federal Land Development Authority
(日本語): 連邦土地開発局

ロ. 隊員勤務先名称: 隊員赴任前に始まる新しい 日本語名称 ()
所在地: 入植地に入る客路は不明 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Field 12 は約 4000 人の Staff 約 32000 入植者 種々の動いている
隊員は 2 の中で 100 入植地に配属される。100 入植地は約 20 人の Staff 100~400 入植者
入植者は 10 エーカーのジョットの田舎に 10 エーカーの田舎に 2 エーカー

ニ. 設備概要: 入植者の家の周囲や空地を利用した野菜栽培

(2) 隊員の業務内容: プム周 オイルパーム周の第 1 歩 (1/2 歩) の余暇に入植者家の庭や近くの空地に野菜栽培の指導又は作りの人への指導普及及び Staff への指導が任務

- 1. 地位 野菜栽培指導員 Green Book Plan 下に業務隊員
- 2. 範囲 総て中心は野菜であるが 稲作 果樹 畜産 花卉 養蚕 一般の指導も含まれる 100 エーカーは配属地の受入状況により異なる
- 3. 形態 入植者の家庭を巡回し 菜及活動をする Field の指示により Staff への指導も行う
- 4. カラ-バ-ト等 Field の 1/2 歩の方では 10-15 の指示があるが 入植地により異なる 対象となる入植者は野菜栽培の肉に 含む トウモロコシ キウリ マメ類 キヤバハ程度で 3 人 栽培している人は少ない
- 5. 機材 種子 温度計 病害虫園簿 園書 携行用 10 エーカー 他は全て (種子) 現地調達可能 作業衣 長靴等の身用品
- 6. 所属 10 人 ドイツ ボランティア (他業種)
- 7. 言語 マレー語 (Staff は英語も可)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシア政府の政策の 1 つである Green Book Plan 受入 Field を 6 年力を入れている 先行隊員の評価は JOCV の期待は大きい 配属地は新しい入植地にあり 地域は JOCV 知識が 薄く 所々ある 100 エーカー隊員を積極的に (あるいは) 活用する 再三の連絡を配属先に出している

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
農業・園芸経験者 野菜の栽培に農業一般に通じている者
(※ 今年派遣の 7 人を含む)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 53 年 4 月 20 日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Horticulture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 園 芸	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management), Ministry of Agriculture & Forests
(日本語): 農林省 農業普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称: Daulatpur Agriculture Extension Training Institute
日本語名称 (Daulatpur 農業普及研修センター)
所在地: Institute Daulatpur 主要都市からの距離 (ダカより200キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及員を養成する政府機関である。現在は1年生86名、2年生60名の男子生徒がいる。敷地面積は120エーカーありその中耕地面積は80エーカーで主に実習に利用されている。指導教官5名と加え職員は20名いる。
- ニ. 設備概要: 事務的 校舎 講堂 職員住宅の他に1777-2台 耕耘機2台 自動脱穀機1台 動力灌漑機4台 足踏脱穀機4台 防除器数台 270バスマシン等所有している。

(2) 隊員の業務内容

- 卒業後は農業改良普及員になるべき生徒に、農学Ⅰ、農学Ⅱ、作物保護、農業機械、農業普及、園芸の6課程の授業を行っているが、隊員は中央配属先で作成された指導要領及び校長の指揮の下に園芸を担当し、カレッジ・パートナーと協力して日本語で授業が可能であることは主に実習を担当し、他に農場運営面の協力、近隣農家への普及活動も行っている。
- ① 業務上の地位: 教官
 - ② 技術の範囲: 野菜を中心に熱帯果樹も含め日本の農業高校で指導可能な程度の知識と技術
 - ③ 業務の形態: 当初は週5日朝7時から9時迄行なわれ、平均20名の実習の技術指導が主となり授業が可能に行なわれ、1時迄行なわれる講義も担当する。
 - ④ 対象者及びカレッジ・パートナー: 生徒は高校卒業程度の学歴で入所時18~22歳の男子で農家出身者が多く、基礎的知識は乏しい。カレッジ・パートナーは32歳、大学農学部卒業で専門的理論的知識は強いが実務的な事は全くない。
 - ⑤ 利用している材料: 上記設備概要の他に土壌検定器、土壌水分測定器、剪定鋏、苗木など。
 - ⑥ 外国人専門家: 稲作、園芸、農業機械の3人のJOCV隊員のみ。
 - ⑦ 使用村言語: 生徒及び農民とは全てベンガル語。但し教育を受ける人との会話及び公文書類には英語が多く使われる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

Daulatpur AETIには昭和48年8月 省庁協力隊員が1陣以来隊員が継続して派遣されている。この要請は園芸の3代目となる。普及員養成が省庁の要請とされているが、勤務先、配属先への相互理解を深め、JOCV隊員が必要不可欠の存在にしている。特に実務面の強化が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

日本の教育制度の常識及び社会通念により短大卒業以上の学歴(○印以上)の定務経験が必要
農業に熱意を持ち教官として生徒に教えることに抵抗のない人が望ましい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 52 年 11 月 18 日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (B.V.S.)

(日本語): バングラディシュ ボランティア サービス

2. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ランポール農村開発計画)
所在地: 17カリー県イランジャングラ郡ランポール村 主要都市からの距離 (コッタールより 50キロ)

3. 事業規模及び内容: B.V.S.は1971年設立以来通算約3000人の17カリー県イランジャングラ郡農村開発に従事してきた。本年度は300万7カ(約5千万円)の予算で現在150人の17カリー県イランジャングラ郡と協賛する。ランポール計画は月平均6千7カ(約10万円)の予算で実施されている。

4. 設備概要: ランポールには5~6人宿泊可能なスペースを有する事務所があるのみ。現在事務所・宿舎を建設することを計画している。

(2) 隊員の業務内容: 現在 ランポールには各地の大学から8人、地元から6人のスタッフリストではない休学中の学生が240家族に対し17農村開発の一環として野菜栽培の普及に当たっているが、隊員はB.V.S.メンバーを指導し、村内農民への普及活動を行っている。

(1) 隊員の業務上の地位: B.V.S.メンバーの相談相手

(2) 技術の範囲: 直接の相手となる農民はB.V.S.メンバーの教育により文盲が減ってきたが、なお半数以上は文盲であり、B.V.S.メンバーも日本語リストの下等基本的な知識・技術が十分と判断する。特に果樹も含め広幅の広い知識・技術が必要とされる。

(3) 業務の形態: 農村に於ける普及活動

(4) 対象者・カウチーパートの技術水準: カウチーパートはB.V.S.メンバーと共に休学中の大学生が主であり、そのB.V.S.メンバーが指導おぼれから技術水準は低い

(5) 現地下利用可能な材料: 農民が所有する畜力利用の伝統的な農具のみ

(6) 取組に於ける要員数: 来年から10名派遣される計画があるが、何人かはランポールに配属される可能性が高い。

(7) 使用する言語: ベンガル語 (但し英語も時には必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: B.V.S.はその活動が国際的に評価されている17カリー県イランジャングラ郡の組織から、当国で活動中のJOCVも知り技術上のアドバイスを得たい。又同じアジアにある日本からのボランティアと共同で農村開発を進めたいという期待がある。特筆すべきは、高度の技術よりも日本では想像不鮮な厳しい条件の当国農村で働くボランティアになり得る人間性・若さを高く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では過去の例のように特に厳格な資格・条件はないが、食糧・農民の心情を理解できる厳しい生活環境に耐えられる(心身ともに健全)な青年であること、短大卒以上で実務経験1年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 5 月 8 日

10302 野 菜

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): *University of Chittagong, Ministry of Education*
(日本語): 文部省, チッタゴン大学
- ロ. 隊員勤務先名称: *Chittagong University Rural Development Pro* - 日本語名称 (チッタゴン大学農村開発計画)
所在地: *gramme, チッタゴン県ハザリ郡チッタゴン村* 主要都市からの距離 (チッタゴンより 20キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: CURDPはチッタゴン大学周辺農村の開発を目的に1975年から5年間の予定で始められた計画。チッタゴン大学の長を代表とし他に同大学教授、政府村内の専門家と協力して実行委員会を持ち現在迄農村調査、農民教育、チッタゴン大学の学生実習指導等を実施した。
- ニ. 設備概要: 面積35エーカー(平坦地5、傾斜地10、丘陵地20エーカー)の農場に浅井ポンプ/発電機1台とあり、農場長、副農場長各1名及び公営労働者12名が管理している。

(2) 隊員の業務内容: 農場の採算がとれるように野菜、稲作、果樹の作付計画等通常の仕事をこなす。

- 1) 業務上の地位: CURDPの長 Agriculture Programme Directorの下で2人下で仕事をする。
- 2) 技術の範囲: 野菜を中心とし稲作、果樹も含めた農業全般の幅広い知識と技術。
- 3) 業務の形態: 農場管理と普及活動
- 4) 対象者及び公営労働者: 対象者は農場内では労働者が中心で、普及の場面では農民になるが、経験により農業を行っており、その面では農業をこころいするが、一般的には知識、技術が乏しいと言え、公営労働者は事務所に机を据えている人で言葉の面は弱い。
- 5) 利用すべき材料: 上記設備概要の他に弊等の伝統的農具
- 6) 外国人専門家: なし
- 7) 使用言語: ベンガル語、ヒンディー語(要領もかなり)使用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学の長がチッタゴン県の他の部に派遣されたJOCV隊員の活動により高く評価しJOCVの力を期待して要請された。
昭和51年7月に非公式に要請されたから公式化して日本では考えられない程時間と労力がかかり、その間勤務先が一貫して強い期待を持ち続け47年の事は特筆に他ありません。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 配属先の大学卒の24年制大学卒業以上の学歴と業務に強いこと。
経験は長ければ長い程又心身ともに健康なことが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 53 年 9 月 23 日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Vegetable Growing	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野 菜	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC), Mini- (日本語): Ministry of Agriculture & Forest 農林省バングラディシュ農業開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: Kachimpur Agricultural Development 日本語名称 (カシムプル農業開発農場) 所在地: Estate (ADE) カシムプル郡カシムプル主要都市からの距離 (7.5km) 約 40 キロ
- ハ. 事業規模及び内容: 近隣農民(約5万エーカー)への普及活動および人材育成を含めた農業技術向上のため約60エーカーのモデル農場で野菜栽培生産、デモンストレーション栽培、農民教育等を行う。
- ニ. 設備概要: 事務所、教室、農具修理場、野菜販売所、倉庫、鶏舎、取反住宅等の建物および深井戸ボンプ1基。

(2) 隊員の業務内容

- カシムプルADEが実施している専攻のうち普及部門を担当し、展示圃場に於いて近隣農民のみに栽培品目、作期の選定および既に普及している野菜の定着促進のためモデル農法を中心にデモンストレーションを行う。なお土壌調査も行う。
- イ. 専攻上の地位: 普及部門を担当する農場長補佐後
- ロ. 技術の範囲: 日本校、現地校、カシムプル熱帯学校野菜の栽培、普及および簡単な品種の採種技術。
- ハ. 専攻の形態: 農場での試験、展示栽培の運営、管理、監督および近隣農民への普及活動
- ニ. 対象者およびカテゴリー: 直接の対象者は当地ではレベルの高い農民、カテゴリーは40才の農業大学卒業生
- ホ. 利用する材料: トマト、耕転機、トラクター等。その他農具は十分揃っている。
- ヘ. 所属する専門家等: アメリカ CARE からのアメリカ人 1 人、又この CERDI, BRR1 に日本人専門家が合計 12~13 人
- ト. 使用する言語: ベンガル語、英語(英語もかなり必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地に於いては、ほとんどの知識のみが先行し、実行がほとんどない傾向があるため、計画と確実に実施するために現場での技術者の後援が必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の進みから短大以上の農学部を卒業し、卒業後(1年以上)の社会経験、野菜栽培の専攻経験と持っていること。必要で農業普及活動の経験があればなお良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和53年 9月23日

調査者氏名 熊野 秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Youth Programme	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 青少年活動	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Integrated Rural Development Programme (IRDP), Ministry of LGRD
(日本語): Cooperatives 地方政府農村開発組合, 総合農村開発公社
- ロ. 隊員勤務先名称: Youth Programme office 日本語名称 (青少年活動事務局)
所在地: ランゾール県ミナール郡 主要都市からの距離 (約) 20キロ
- ハ. 事業規模及び内容: IRDPから1977年5月から当国内4ヶ所に設立した青少年活動センターの1つで、ミナール郡内の21ヶ村でメンバーが15~40人の青少年組織が野菜栽培、水田栽培、養鶏等の極めて小規模な活動を開始したばかりである
- ニ. 設備概要: 事務局の机があるのみ

(2) 隊員の業務内容: 人口密度世界一と云われる当国の農村で就業の村会がほとんど日雇い労働者の生活と余暇を(とれ)る青少年を組織化し、訓練し収入源と見つけ出し、農村での青少年の生活の基盤を築き上げるのが業務の中心となる

- イ 業務上の地位: IRDP Thama (郡) Project officer 以下 Youth Organizer と同様
- ロ 技術的範囲: 青少年の組織化という技術上、村の青少年との話し合いの結果出てきた必要に依り、この中心で言えば現状では農業が基本で中でも野菜栽培の普及が最も重要な技術となる
- ハ 業務の形態: 土地をほめて業務遂行上の基礎は全くないと考えられる無収入状況下の村々の青少年組織を巡回し、種々の問題を青少年と話し考え克服し、活動の発展を図る
- ニ 対象者及びカテゴリー: 対象となる青少年組織メンバーは規定では13~26才だが実際には13~40才程度で様々で無学の高齢者も多々ある。カテゴリーは Youth Organizer だが、文化系出身のため技術は全くない
- ホ 利用すべき技能: 伝統的当国制農具のみ
- ヘ 母国人の家等: なし
- ト 使用言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農村開発の観点から野菜、稲作、養鶏、養蚕等が主であるが、これに限らず、とにかく青少年組織化に着手を求めさせ、ミナール郡に於ける青少年活動を活発にして、現在無収入の青少年の収入源を、更には発展させた生活の基盤とさせたい

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 短大卒以上の学歴、卒業後(1年以上)の業務経験が必要
農村、青少年を愛し、説得力、実行力があり、積極的に青少年と話し、農業技術の指導者として以上の能力と責任感を持って働く人が望ましい

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 51 年 7 月 31 日

ネパール 国 調整員

調査者氏名 木内 志郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Agriculture (in General)	(男) 1 人	訓練開始 昭和 51 年 12 月
	(日本語) 農業一般	(女) 人	派遣予定 昭和 52 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Home Panchayat Ministry

(日本語): 自治パンチャヤット省

ロ. 隊員勤務先名称: Jhapa Panchayat Development Training Centre

所在地: Jhapa, Mechi Zone.

日本語名称 (ジャパパンチャヤット開発訓練所)
Bhadra
主要都市からの距離 (pur より約 4 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 職員数: 総員 64 名 内訳: Principal-1. Senior Instructors-4.

Instructors-7. Senior Accountant-1. Administrative Staffs-19.

Junior Technical Assistant-1. Pions or Field Men-31. 年予算 1975-76: Rs. 937,000 (約 2248 万円)

ニ. 設備概要: 農場面積約 25 ha (内 70% のみ現在利用中) 事務室 1 職員室 2 教室 3 講堂 1.

図書室 1 来賓宿舎 1 職員宿舎 10 訓練生宿舎 3 棟 (150~200 名収容) 倉庫 2.

(2) 隊員の業務内容:

農村指導者育成の訓練学校に 2 一般作物 (稲, 麦, トウモロコシ, ヒエ), 果樹, 養鶏, 畜産, 蔬菜 などのデモンストレーションを同校付属農場に 2 行うと共に, 農業技術の基礎的な講義も行うことになる。

他に, 時間的余裕があれば同校卒業生の農村を訪問し Village Panchayat 等の農業プロジェクトに対する相談業務 (営農指導サービス) を行うことになる。

① 業務上の地位: Agriculture Instructor として配属される。

② 技術の範囲: 農業全般にわたる理論 (基礎的な) 及び実務に亘る広い知識が必要とされる。

③ 業務の形態: 理論面 … 農業関係講座担当 (農業技術の基礎, 簡単な実験 など)。

実技面 … 圃場管理, 訓練生に対する現場実習指導, カウンタートに対するアドバイス, 及び他の農業プロジェクトに対する営農指導 etc.

なお, 他に同校にある約 25 ha の圃場をいかに利用したらネパール農村指導者にとつて最も有意義なデモンストレーションを行えるか計画, 立案, 実行する。

④ 対象者及びカウンタートの技術水準・学歴及び年齢: 訓練生 (平均年齢 25.6 才) の多くは 10 年制の教育を終えているがその基礎学力及び技術水準は非常に低い。従って, 講義より視覚教育 (実技) のための農場を整備するというのが重要となる。一方カウンタート (36 才) はネパールの農業短大を卒業した J.T. (Junior Technician) で Agriculture Instructor の地位にある。ババに 15 年の留学経験があり 1976 年 7 月からは高知

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

果農入りの研修生として渡日中である。非常に浅い知識ではあるが農業時のボランティア受入の目的は, 個人 (山村) 農輔会に全般的にわたる長知識があるが, その知識の応用が出来ない。孫徳はカリビク, 小規模の土地をいかに利用するに巧みである。この秋に断片的な土地所有形態で ⑤ 利触転機機: クレキ, 足踏機, 穀機, スプレー等。ある従って, もしネパール農民が小規模の土地に対する集約農法を知ることが出来ればネパール農民にとつて大変有益なことである。⑥ 外国人及び欧米の専門家の配属はない。⑦ 使用言語はネパール語。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部卒業程度の知識があり, 実技経験多し程よい。 以上の JOCV を要請する主たる意図であり期待である。

○ 農業改良普及員 又は 営農指導員の経験 3 年程度

他に資格は多し程よい, 特に生物等の教員資格あれば更に良い。 26 才前後。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 53年 7月 25日

調査者氏名 寺田好男
木内志郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) VEGETABLE PRODUCTION	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 野菜栽培(アシカ講師)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 54年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Education, Tribhuvan University, Institute of

イ. 配属先名称 (現地公用語): Agriculture and Animal Science.

(日本語): 教育省、トリバン大学 農業・畜産学部

ロ. 隊員勤務先名称: Central Campus.

日本語名称 (同農業・畜産学部中央校舎)

所在地: Rampur, chitawan-Dist., Narayani-zon 主要都市からの距離 バラナシより約7キロ

ハ. 事業規模及び内容: 同学部には (Pre-Professional Agri.) (Certificate in Agri.) (Diploma in Agri. Education), (Diploma in Agri.) の各コースがある。現在学生数は 388名、教員 28名 (含教授講師) 各課の

管理部門の職員 126名 (会計、タレント等) 圃場管理作業員 (Field Man) 約 20名 である。

ニ. 設備概要: 教室、講堂、学生宿舎、学生食堂、教職員官舎等があるが、いまだ充分なものではなく、年次計画に従って充実する予定であり、現在は学生宿舎、職員官舎を建設中である。

(2) 隊員の業務内容: 同大学構内の農場において Farm Manager 等と共に野菜部門の生産活動を行いながら学生の実習指導・訓練にも従事する。その他に各種野菜の各種栽培試験研究を行うこともある。

① 隊員の業務上の地位: 技術の程度により相対的立場も異なることが予想されるが、Assistant Lecturers (アシカ講師) とする。(Geogated III Class officer と同等である。)

② 技術の範囲: 野菜栽培の実技と理論に精通していることが望ましい。

③ 業務の形態: 農場において各種野菜 (スカ、カブ、ジャガイモ、大根、玉ねぎ等) 栽培を行いながら学生の実習指導・訓練も行うことになる。他に各教員が担当する Research Programme につきも余裕があれば参加し、各種野菜の栽培試験研究を行うこともある。

④ 対象者及びカウンターパート: 農場長及び Field Man、学生もその範疇に入る。技術水準は低い。但し、教員 (教授・講師) は外国留学の経験者が居るので、理論的には高度でも実技は普通以下と見る。

⑤ 現地で利用出来る機械: 小農具はだいぶ揃っている。他は別紙参照。今後徐々に充実していく方針とのことであるが充分とは言い難い。

⑥ 外国人の配置状況: MUCIA (Midwest Universities Consortium for International Activities) の Member として教授 1名 (専門は教育学)、1人 1名 (専門は Crop Production) 近く帰国。他に アリカベスコ 2名 (夫婦) 夫は Farm Management、専ら英語講師。更に 779 農場に勤務している寺田好男隊員が 53.8~54.8月まで同業務を行うことになる。⑦ 使用言語は、ネパール語、専門用語は英語を必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本人は、アメリカ・カナダなどの大型農法ではなく、集約農法とその(新)技術を良く知っている。従って、その領域の技術をネパールに活用出来るだろうから、これを学生に指導してくれることを期待する。これは大変有意義なことでもある。(学長談)

なお、同学部では現在指導者を養成中であるが、現場指導者は少ないことが要請の背景である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

4年制大学農学部卒業者でなくても野菜栽培について 2~3年の実務経験を要する。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10302 野 菜

記入昭和 56年 10月 1 日

調査者氏名 小野 睦一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西ヤマ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 54年 4月
	Vegetable Promotion (Extension)	(女) 人	派遣予定 54年 8月
	(日本語) 野菜栽培(普及)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture & Forests
(日本語): 農林省

2. 隊員勤務先名称: Extension Vegetable 日本語名称 (野菜普及所)
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 十数カ所あり中心、ウチの西島の Extension を巡回野菜栽培の普及と指導し、併せて各地の教会菜園や、ウチのウチの野菜栽培技術を指導し普及を図る。

4. 設備概要: 地元の中心に中央試験場があり海外からの品種を試し、各普及所でも地元の普及を図る。トロッコ敷き道が中心にある。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: 大抵の仕事をこなす。大抵の仕事をこなす。
2. 技術の範囲: 野菜の生産普及及び調査研究を普及所で行う。その他学校菜園、個人の農家、教会関係、ウチのウチの野菜栽培の指導。
3. 業務の形態: 現場、試験所型になる。
4. 対象者及びその中心の技術水準、学歴及年齢: 特別のレポートはない。フルタイムは優秀なピシストがいる。交換者には、40~50代中層管理職。
5. 現地で利用可能な機械: トロッコ始末機、刈り取り機、地方には必ずしもない。
6. 職場における外国人及日本専任家の配置状況に: 隊員1人、コック1人、ボクサー1人(NAO)1人。他に、今年中、中国村野菜の専任家10~15人との予定と聞いています。(お祭り) 1人。
7. 使用する現語: ヤマ語、英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

野菜の品種の比較試験、普及(野菜栽培の)の業務の又、その普及と、将来の技術者育成

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大抵の野菜栽培、各所を指導する人の経験がある。毎日各普及所を巡回するの為に相応の体力が必要である。92%健康に自信があり、自己管理が出来る人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年5月6日

10303 果 樹

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Fruits Growing	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	果 樹		

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Horticulture Development Board (HDB), Ministry of
(日本語): Agriculture and Forest 農林省 園芸開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Biani Bazar Nursery Station 日本語名称 (ビニバザール植育場)
所在地: シレット果ビニバザール郡 主要都市からの距離 (シレットより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: HDBは1973年の農業普及局と農業開発公社の園芸部門が独立合併して設立された。果樹部門は昨年8月から植育場設立通地の調査を始め、今年4月にビニバザールに決定され、植育場として整備される段階にある。

ニ. 設備概要: 約2エーカーの土地にオレンジ20本、ジャックフルーツ5本の木がある。土地の事務的に車(ピックアップ)1台のみ。屋内設備は上級の管理により今後整えられる予定。

(2) 隊員の業務内容: 平均2.5エーカー(最大12エーカー)の果樹園を持つ農家を対象としてオレジン(温州みかん)を中心にレモン、ジャックフルーツ、ジャバ等の熱帯果樹の普及が主な業務になる。地元のNursery Stationの近所の通り苗木の生産農家の訓練も行う。

1) 業務上の地位: 勤務先の長であるHorticulture Development officerの下でアシスタント

2) 技術の範囲: オレンジを中心に地元のレモン、ジャックフルーツ、ジャバ等の熱帯果樹に関する知識と技術

3) 業務の形態: 農民への巡回指導が中心。

4) 対象者及びカウチング: 直接の対象者はほとんど教育を受けていない農民で果樹栽培の技術はない。カウチングには Field Overseer がその得た技術水準を定めている。

5) 現地下利用が可能な材料: 現地下にはビニバザール植育場には何も無い

6) 専門人専門家: 勤務先にはいない。

7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: HDBのExecutive DirectorはJOCVの厳しい条件下でもベトナム語を駆使し農民の中に入り込む各地で支那定額を減らす事に努力し、更にHDBに果樹技術者の絶対数が不足していることを要請され、上述のとおり農民への普及活動が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本との教育制度の違いから社会通念により短大卒業以上の学歴(○印)と○年以上の定務経験。定務経験は長ければ長い程良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

105 き の こ

記入昭和 53 年 5 月 8 日

調査者氏名 飯場 隆介

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Mushroom Cultivation	(男) 1 人	訓練開始 53 年 10 月
	(日本語) きのこ栽培	(女) 人	派遣予定 54 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Horticulture Development Board, Ministry of Agriculture
(日本語): 農業省 園芸開発局

ロ. 隊員勤務先名称: URBAN Horticulture Service. 日本語名称 (都市園芸サービス)
所在地: Gulshan farm, Muhammadpur farm (近郊都市からの距離 (より キロ))

ハ. 事業規模及び内容: フルタイム農場、モハット農場共に 1.5 エーカー程の土地で野菜、果樹栽培
している他、学生を対象にトレーニング (デモストレーション) をかねており農場のマネージャーはこれ
2名が、労働者は 5名 程度の規模である。

ニ. 設備概要: フルタイム農場: トラクター 1台 (キャブ 8HP) 114' x 30' は近くの池からジョロ散
モハット農場: トラクター 1台 (キャブ 25HP) 114' x 30' は木道 1基

(2) 隊員の業務内容: 二つの農場内においてきのこ栽培可能な場所を選定し品種を
調査するのが主な業務になる。
又仕事の合間、現在各農場で園芸助手が果樹、野菜の育苗栽培を指導
しているがその技術が充分でないためこれらの助手に対しも技術的アドバイス
するようになるだろう。

- ① 業務上の地位: ファームマネージャーの下でジュニアエキスパート。
- ② 技術の範囲: きのこ栽培中心 (可能な品種選定) で野菜、果樹栽培に対して
適切なアドバイス (技術的) を与える。
- ③ 業務の形態: きのこ栽培に関する実験、調査が主体となる。
- ④ 対象者: コンタクトビルで園芸助手 (農業高卒) をつける。
- ⑤ 利用出来る機材: 無し。
- ⑥ 職場における外国人: 無し。
- ⑦ 使用言語: ベンガル語及び英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: きのこ栽培はこの国で ^初 初めての試みであり
その技術的知識は皆無であり園芸開発局として、きのこ栽培が可能か否か
先ず実験、調査し、可能な品種を選定し園芸作物として普及させていくことを
期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
短大卒業以上の学歴で卒業後 1年以上の実務経験が必要。
きのこ栽培に関する実務経験が長い程よいが野菜、果樹にも多少経験を持つ
者であれば好都合である。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

115 土壤肥料

記入昭和 57年 10月 20日

調査者氏名 小塩 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
724=7	(現地公用語) Irrigation Agronomy	(男) 4 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語) 農学教師 (灌漑農業)	(女) 人	派遣予定 52年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Division, Ministry of Agriculture
(日本語): 農業者人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Ministry of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)
所在地: Mtwara, Mpwapwa 各1校 主要都市からの距離 約50キロ

ハ. 事業規模及び内容: MATI Mtwara は 6年制校の Certificate 課程のみの学校であり
MATI Mpwapwa は 農医科の Diploma 課程の1校に新たに Certificate 課程を設置
Certificate 課程は2年制であり 農業者及び農家の養成を目的とし 生徒数は向後10年80名と
見込まれる。両校とも教室学生寮 職員住宅は完備であり 設備も近年急速に刷新
されている。特に Irrigation 関係は新規導入の科目であり 教材も不足

(2) 隊員の業務内容:

- ① Certificate 課程 (日本農業高校程度) の学生に Land Use 関連教科
の16 巻量 製図 灌漑設計 施工法 除(命)野即ち ① 土壤肥料 ② 土壤の
水の保存 ③ 灌漑理論 ④ 灌漑農業理論 灌漑条件下における輪作体系の
病虫害防除理論等、を指導する。
- ② 教科担当教師として派遣される。
- ③ 農学全般の知識を専攻する。特に 土壤学 (土壌分析) 植物生理学 他に 測量学等。
- ④ 申請隊員は 灌漑設計 施工隊員とペアで派遣される。2人の隊員が協力して Land Use 関連の全教科を指導する。なお 教室の教科指導は申請隊員の
任務外。
- ⑤ 生徒は Secondary School 卒業者 年齢20歳前後 農業者の家の系統をたどる知識は無い。初歩の基礎知識は必要あり。Certificate 課程は学科制であり 農業全般
に中立的な知識を授けようとする。理論的に深く追求する。実地教育は重要である。
- ⑥ Irrigation Agronomy は今年5月の教育改革により 新たに導入された科目であり シラバス
は用意された。専任教師が1人 52年3月の授業開始まで準備中。教材は不足。
- ⑦ 調査時より MATI Mtwara に1人1人専任内容 (各1名) を派遣し 将来外国人の増えの可能性大
- ⑧ 英語: 教室での授業は全英語で行われる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今年5月の教育改革により Certificate 課程に Irrigation
関係の科目を設けること決定され 52年6月の授業開始に向けて準備を進め 2名派遣
現地の専任教師の確保が困難なため 協力隊員に協力を要請した。当初
先方は Certificate 課程でも10校程度に限り派遣と要求したが 調整の結果
小人数での開始を希望され 派遣増やしてゆくこと話し合われて 今回申請された。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
農学を教える指導出来る程度に 該学(英語)と理論的知識が専攻科目。
① 大学卒業生 ② 英語表現力 ③ 実務経験豊富。なお 派遣先は 灌漑農業
④ 現地到着時の年齢 25歳以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和52年 5月 9日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
Bangladesh	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 1人	訓練開始 52年 10月
	(日本語) 農業機械	(女) 1人 (どちらでも可) 1人	派遣予定 53年 2月 受入期限(5)年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)
- (日本語): Ministry of Agriculture 農業省農業普及管理局
- ロ. 隊員勤務先名称: Sherpur Agriculture Extension Train-日本語名称 (シリポル農業普及養成所)
- 所在地: ing Institute マインシムシム(シリポル)主要都市からの距離 (ダッカより170キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及促進養成所村内にある。現在は1年生・2年生合わせて約130名の生徒がいる。敷地内の全耕地面積は24エーカーで主に実習用として利用される。
- ニ. 設備概要: 事務所、教室、宿舎、職員宿舎等の他に圃場用として耕耘機、洋井戸ポンプ灌漑用ポンプ、自動噴霧器各1台がある。

(2) 隊員の業務内容: 卒業後は農業改良普及促進所での生徒に対する、農学I、農学II、作物保護、農業機械、農業普及、園芸の6教科の授業を行う。その中で隊員は中央で作成された指導要領に基づき校長の指揮の下に農業機械を担当し、ベンガル語で授業が下まると言うことは主に実習を担当する。

- 1) 隊員の職務上の地位: 教官
- 2) 技術の範囲: 農業機械の中での指導として利用されている上記設備概要に記載した各種大型化、近代化している農業機械の理論と技術指導およびそれらの改良。実習には測量も含む以下の下等板測量程度の測量技術があれば十分である。
- 3) 業務の形態: 当初は朝6時30分から9時30分迄行われる実習時間で耕耘機、ポンプ等の運転方法、構造、分解組立および測量等と担当し授業が可能な程度での定かからず午後2時迄行われる農業機械の授業を担当する。
- 4) 対象者およびカテゴリー: 生徒は18才~20才の男子で高卒が多く農業について知識はあるが実務経験はほとんどない。カテゴリーは大学、大学院卒が30~40%
- 5) 現地下利用する機械: 上記設備概要に同じ
- 6) 現場に必要とする人員等: 同じ勤務先に協力隊補佐隊員
- 7) 使用する言語: 生徒とは全てベンガル語。校長、教官とは英語も必要

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: シリポル AETI に 昭和49年10月以来協力隊員が派遣されているが最近の1年間には隊員が 必要不可欠な立場に立つており、教室での授業は当地の教官も行うが、実習は教えることのできる人がいないので希望を得ている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の若干の差から短大以上の農学部を卒業し、卒業後(1年以上)の実務経験を持つことが必要で、教室で生徒に教えることに抵抗を感じない人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和52年11月24日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業機械(農具改良)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Volunteer Service (BVS)

(日本語): バングラデシュ ボランティア サービス

ロ. 隊員勤務先名称: Rampur Village Development Project 日本語名称 (ジャール農村開発計画)

所在地: 17カリ集バングラデシュジャール村 主要都市からの距離 (コミナより50キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BVSは1971年設立以来、通算約3000人の国内ボランティアを農村開発等に従事させ、本年度は300万7カ(約5千19)の予算で現在150人の国内ボランティアを擁する。ジャール計画は同年約6千7カ(約10万19)の予算で実施され、

ニ. 設備概要: 勤務先には5~6人宿内可能なスペースを有する事務所があるが、現在事務所・倉庫を改築することを計画。

(2) 隊員の業務内容: 現在勤務先には各地の大学から8人、地元から6人のボランティアとして、休学中の学生が任期1年間の予定で240家族に対し7農村開発の一環として農具の改良・普及に当たっているが、隊員はBVSメンバーを指導し、村内農民への普及のための任に当たる。

(1) 隊員の職務上の地位: BVSメンバーの相談相手

(2) 技術の範囲: 合い、当地農民の標準的農具として、鋤、鍬、均平耕機、手鋸、鋸、除草機、トラクタースタンプは所有する者が少なく、動力使用の農具はほとんど使っていない。畜力利用の農具を研究・改良・製作すること。

(3) 普及の形態: 農村に於ける普及活動。

(4) 対象者・カテゴリー・技術水準: カウンターパートはBVSメンバーが、休学中の大学生が主であり、そのBVSメンバーが半数以上は文盲の農民に指導しているため、技術水準は非常に低い。

(5) 現地で利用可能な材料: 当地に存在する素材と村の鍛冶屋の技術。

(6) 職場に於ける村の人手: 東部から均等ボランティアを以てした開発途上国からBVSに20人程度派遣される計画があるが、何人がジャールに派遣される可能性もある。

(7) 使用する言語: ベンガル語(但し要領も暗記は必要)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: BVSはその活動が実際的に評価されている国内ボランティアの組織が、当地で活動中のJOCVであり、技術上のアドバイスを得る。又同じように日本からのボランティアと共同で農村開発を進めたいという期待がある。

指導すべき高度な技術よりも日本では想像不可能な厳しい条件下の当地農村で働くボランティアに知り得る人間性や苦闘を強く重視している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 上記のとおり技術の面では他の131と若干の差を認め、(1)と(2)は、農民の心持を理解して厳しい生活環境に耐えられる(心身ともに健全)であることが必要とされる。

短大卒以上で実務経験1年以上が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 50年 8月 7日

調査者氏名 在バングラデシュ駐在員

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣、帰国決定
バングラディッシュ	(現地公用語) Farm Machinery	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農業機械	(女) 人	派遣予定 5/ 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語) Bangladesh Agricultural Development Corporation, Ministry of Agriculture, 農業省, 農業開発公社 (BADC)

ロ. 隊員勤務先名称 Dattanagar Seed Multiplication Farm 日本語名称 ダッタナガール種子増殖農場
所在地: Dattanagar, Jessore Dist. 主要都市からの距離 Jessore より約 10km 以内

ハ. 事業規模及び内容: BADCは高収量品種の増産, 農民に対する各種優良品種の供給, 肥料, 農薬, トラクター, 農業用機械, 電材の販売, 技術指導, 農業協同組合の組織向上, 育成等の業務を行い, 全国48箇所農園と21の種子増殖場の農場を経営している。

ニ. 設備概要: S.M. Farmは約100~600エーカーの自己所有耕地で種子増産を行うと、周囲の登録農家への技術指導と種子買付けを行う。Dattanagar S.M. Farmは最大

(2) 隊員の業務内容:

1) S.M. Farmは農業公社の4事業部門のうちの一つである農場部門の種子増産の主任として、トウモロコシ, 豆, 野菜等主要作物の品種の増産を行う。隊員はDattanagar S.M. Farmの専門技師として農場スタッフの技術的指導を行う。

2) 技術範囲 } Dattanagar S.M. Farmに所属する同農場と数ヶ所他S.M. Farm
3) 業務形態 } 農業機械の操作, 維持補修技術を指導, 又S.M. Farmの整備場設置に協力する。

4) 指導対象と指導系統は右のとおり
所長 (additional manager)
Chief Superintendent
Farm Superintendent

5) 使用対象農機具 ① 中型トラクター (40~60Hp)
② Deep tubewell ③ Lowlift pump
④ Sprayers ⑤ Thresher ⑥ Drier ⑦ Workshop
Foreman, Mechanic, Agri. Overseers, Mechanic, Driver

6) 現在 BADCには田舎, 貧民団隊 (Kashimpur or Patia) が勤務している。他の外国技師は受け入れられていない。
7) べトナム語使用と予約とあり

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

49年度1次隊員2名はDattanagar S.M. Farmに受け入れられ、同隊員は実績評価の結果、2次隊員として7名の要請がBADCから出された。当農場は初めて隊員派遣を要請したとあり、又農業機械部門の要請もBADCで初めてである。協力活動の波及効果は非常に大きいと思われる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 単大卒程度
- ② 農業機械整備士習得 2級と有ることが好ましい
- ③ 実務経験: 3年以上, 農場職員としての実践的指導の重要な役割あり, 組織体制の向上に貢献していること必須である。この場合は本人の日本の社会経験は20歳以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年 6月22日

121 農業機械

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 52年 10月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 53年 2月
	農業機械	(どちらでも可) 人	受入期限 3年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management),
(日本語): Ministry of Agriculture 農省農業普及課(現)
- ロ. 隊員勤務先名称: Gaidandha Agriculture Extension 日本語名称 (ガンダ)農業普及養成所
所在地: Training Institute (ガンダ)主要都市からの距離 (ガンダより300キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 農業改良普及課と養成所を政府機関である。現員は1年と2年を合計
して100名の男子生徒がいる。敷地面積は98エーカー。うち耕地面積は58エ
ーカーで主に学習用に利用されている。
- ニ. 設備概要: 専修所 教室 講義室 職員住宅 畑 (7ボワ26^{PS}) 耕転機 (10^{PS})
脱穀機 深井戸ポンプ (15^{PS})、マシンのバスター等所有している。

(2) 隊員の業務内容

- 本隊は農業改良普及課に所属する男子生徒に対して、農業Ⅰ 農業Ⅱ
作物保護 農業機械 農業普及 園芸の6分野の授業を行う。この中で本隊
員は、中央配属先で作成された指導要綱を基に校長の指揮の下に農業機械を
担当し、ガンダ語で指導がなされる。主な学習は以下の通り。
- 1) 隊員の業務上の地位: 教官
 - 2) 技術の範囲: 農業機械の理論と実用から修理と改良にまで日本の農業
高度な指導体制と技術の知識
 - 3) 学習の形態: 当初は毎朝6時半から9時半まで行われる。学習の技術指導が
主となり、授業がなされる。午後2時から5時までに行われる授業を担当する。
 - 4) 対象者の状況: ガンダ: 生徒は高校卒業程度の男子18歳~22
歳の男子で、少くとも2リットル程度の知識を持っている。ガンダ語は大学卒業して40年前
後に習得した面が強い。
 - 5) 現地で利用されている機械: 上記設備概要のとおり
 - 6) 現地の状況: 隊員は5人、現地の人は500人の4
 - 7) 使用言語: 生徒と週に農民は50名、ガンダ語で、校長、教官は英
語しか話さない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガンダは1971年に11月1日以後隊員が継続
して派遣されている。配属先、配属先での相互理解と協力して隊員が仕事をこなす
ために必要としている。特に農業機械は昨年11月以後隊員が派遣された。当時の教
官は経験は乏しく、実際の準備、指導が弱く、技術面強化のため必要が
感じられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度、若年層、2-5年
社会面会より2年以上と卒業し、卒業後(1年以上)の業務経験が必要。ガンダ
ガンダ語の両方の整備を希望している。この必要で農業に社会と持ち、教官と
して生徒に教えることには抵抗のない人が望ましい。
農業一般についてある程度の知識を持っていることは必ずしも必要ではない。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和53年5月3日

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
孟加拉国	(現地公用語)	(男) 5人	訓練開始	年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定	年 月
	農業機械	(どちらでも可) 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Bangladesh Krishi Bank (BKB), Ministry of Finance*
 (日本語): 大蔵省、パナラテシ農業銀行

ロ. 隊員勤務先名称: *BKB Regional Office* 日本語名称 (パナラテシ農業銀行地方事務所)
 所在地: *チッタール, ナンダール, ボグラー, ジョーール, シルト* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BKBは独立以前、農業開発財政公団の農業銀行の合併により設立された国立銀行。現在はその地方事務所、176の支店を持ち、職員約4,000人を擁する。政府と資金に基づき、家畜果樹、水灌漑、淡水養殖、灌漑用水の計画、農民の村(短期(1年)、中期(1~5年)、長期(5年以上))のローンを貸付する。

ニ. 設備概要: 銀行の事務所。農業機械専用の設備はほとんど日本から輸入された農業機械の付属工具の他は持っていない。

(2) 隊員の業務内容

1. 隊員の業務内容: ほとんど日本から輸入された *cooper, mayer, Krishna, Usha, ヤマハ-TS105C, 三菱NA-85-31A, 7ボク7GA90N* の灌漑用ポンプエンジン、その修理を中心とし、農民が使用中の *ヤマハ-Y28N(ES105C), 7ボク7K900-GA-100* の耕耘機、*タタ-S-2000* のトラクター、*サトウSB-100* の脱穀機、*7ボクMPV-3* の製粉機、サトウ乾燥機、保管・管理指導を行っている。

- 1) 業務上の地位: 地方事務所長の *chief manager* の下でアシスタント
- 2) 技術の範囲: 上述の各種農業機械に関する修理と技術
- 3) 業務の形態: 部品調達の問題から農民への巡回指導が中心
- 4) 対象者の状況: 直接の対象者はBKBからのローンを基に購入した農業機械を使用している農民。カウリー・パートは地方事務所にエンジンを修理する際にエンジンが、カウリー・パートに修理される。
- 5) 現地で利用する材料: 日本の基準と比べると全く異なる。
- 6) 職場に於ける日本人専門家: 地方事務所にいない。
- 7) 使用する言語: ベンガル語、英語も頻りに使用される。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 過去に例へば、農業機械を購入した農民は最初の年は非常に満足だが、翌年以降はトラクターが多くBKBへの修理依頼や苦情が多くなり、農民に対する正しい使用法、保管・管理の指導が期待されている。特に今年から輸入された日本製農業機械への期待が大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度や年齢および社会通念により短大卒業程度以上の学歴(卒業後1年以上)の業務経験。業務経験は長ければ長程、又稲・野菜の知識・技術があれば好都合。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入昭和 51年 10月 20日

調査者氏名 小嶋 泰之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) Agro-Mechanization	(男) 2 人	訓練開始 52年 4 月
	(日本語) 農業機械教師	(女) 人	派遣予定 52年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 52年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Div. Min. of Agriculture
(日本語): 農業者人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Min. of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)
所在地: Mlingano (Tanga) 主要都市からの距離 52kmより40キロ

ハ. 事業規模及び内容: Agro-Mechanization, Farm Management 2学科を有する Diploma 課程 (2年制 農業者人材) の学校。専門書及員 養成機関である。本年6月開校、生徒数 100名、1学年当り 40名。教師数 15名。

ニ. 設備概要: 教室、実習員室、Workshop 等、建物は完備しているが教材、図書、Workshop 設備は除々に供給中であるが不完全。

(2) 隊員の業務内容: Agro-Mechanization 学科の主任教科である Farm power, Farm-Machinery, workshop technology の各教科を分担して教える。農業機械化、電化に関する全々の分野にわたりその理論と応用を教えるが、現地教育に重点を置いていく。別紙 シラバス 参照

- ① 教科担当教師は2名派遣される。
- ② 現場の普及活動に即対応出来る人材を養成し主眼を置いていく。Diploma 課程といふことも専門に於いては内容は総合的であり、自動車の構造及び整備技術も重要な項目です。教師が不足していることから担当教科以外に例えば、製図、測量、数学などの教科の指導を依頼する可能性は大きい。
- ③ 担当教科の指導 (実習を含む) を単独で行う。
- ④ カウンパートは期待出来ない。教科担当は全て大卒率で占められていく。生徒は小学校 7年、Secondary School 4年、農業の Certificate 課程 2年を修了した者、Sec. School 6年の修了者又は、Sec. School、農業の Certificate 課程修了後、国家機関や国営農場に勤務し、職場の推薦により入学した者等区々である。年齢 20~25才。
- ⑤ 近い将来、充てるには5名程度ですが調査時集では、1ラッパ程度。
- ⑥ インド人専門家 (Agro-Mechanization 学科主任) 1名のみ。将来増強を見込み。
- ⑦ 英語。教室での授業は全て英語です。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業者は各ウツマ-村、国営農場に専任の普及員を配属するべく意欲的な教育計画を策定し、目下実施の段階に入っており、Diploma 課程はこの目的に於いて高等専門書及員を養成を目的としておられる。協力隊に対しては、このため教育訓練分野での申請をしておられる。これは過去の農業隊員の実績を言明した上で、協力申請であり、これに於いては、協力は動かし、重宝が意識を有せねばと確信します。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒業生 (農業機械を専攻した者) ② 英語 ③ 実習経験 (海外) 又は ④ 現地到着時の年齢 25才以上
- ⑤ 農業機械を教える講義の経験、語学力 (英語) と農業機械に関する広い範囲の理論的知識が要求される。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

131 家畜飼育

記入昭和53年10月2日

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (A.I.)	(男) 3 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育(家畜人工授精)-B.A	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 54年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)

(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称 BAI Regional Office (R), BAI Regional Office (日本語名称 畜産局リジョノフィス V)

所在地: Cagayan de Oro, Legazpi

主要都市からの距離 (マニラより) キロ

ハ. 事業規模及び内容:

家畜人工授精保存プログラムをもちて現地人工授精師がプログラム遂行の任務に
なっているが技術不足、精液保存、凍結手段への問題で計画は思う通りに進
二. 設備概要: 凍結精液輸送管、カセター、人工授精器具。冷凍庫に於いて凍
結精液、液体窒素等はマニラの NABC (National Artificial Breeding Center) から配達さ
る。

(2) 隊員の業務内容: 本要請の R リジョノフィス (カガヤンデオロ) に 1 名、V リジョノフィスに
は 2 名が配属される予定である。

- ① 隊員の業務上の地位: 畜産局付 家畜人工授精師。
- ② 技術の範囲: カウバブ、ミューン種、セブ島牛に対する人工授精、妊娠判定、
疾病に対する治療、伝染病の予防等。
- ③ 業務の形態: 現地家畜人工授精師と共にリジョノフィス内の 3~4 のフィジスに
おき家畜人工授精の普及活動を実施する。又、V 内の A.I. プログラムも兼ねて家畜人
工授精の研修会を開く。凍結人工授精に使用する精液は凍結精液としてマニラの NABC
から送られてくるが現地で未だ「アンプ」方式使用しており、その活力は低い。
しかし、近々冷凍庫も国産の「アンプ」方式に移行する事でより活力の高い精液が
送られる。
- ④ 対象者、カウバブ等: リジョノフィスは 35 歳で日本で 9 年研修の経験がある人物。リジョノフィスには未
定であるが、V には 1 名、現地の家畜人工授精師。
- ⑤ 現地の利用可能な機材: 人工授精器具、凍結精液輸送管等。
- ⑥ 本国の人等: リジョノフィスには 1 名、平和部隊 1 名。リジョノフィスには 1 名。
- ⑦ 使用可能な言葉: 英語、ヒラタ、ヒラタ。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新要請。
家畜人工授精 100% 普及に努め、日本の人工授精技術者による上国での家畜人工授
精普及 BAI 人工授精師の質的向上が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
農業高校卒業以上で (家畜人工授精師) 資格を保有しており (経験が最低 1 年)
以上である。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53 年 10 月 5 日

131 家畜飼育

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry	(男) I 人	訓練開始 54年4月
	(日本語) 家畜飼育(乳用牛・肉用牛)-(B.A)	(女) 人	派遣予定 54年8月
	(どちらでも可) 人	受入期限 54年8月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mambusao Agricultural and Technical College (M.A.T.C)

(日本語): マンブサオ農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: Mambusao Agricultural and Technical College (日本語名称 (同上))

所在地: Mambusao, Capiz 州 主要都市からの距離 併都より約50キロ

ハ. 事業規模及び内容: 農業科, 農業教育科, 農業家庭科及び修エコース(2年制) 農業教育科, 農業家庭科を有する4年制農科大学のほか、2年制農業技術コース, 農林業コースと4年制高校が併存している。同大学の学生総数は現在 1,600人で教員総数 71名である。

ニ. 設備概要: 一般教室のほか、ごく簡単な図書館, 農業諸観測施設, 育苗施設, 鶏舎, 水田, 野菜採種園, 果樹園のほか、約80haの乳用牛・肉用牛用の放牧地がある。

(2) 隊員の業務内容

現在、乳用牛としてレッドヒンディー、ミラバアロー19頭と肉用牛としてレッドヒンディー、ブラマン水牛約60頭が放牧飼育されている。本年10月にはホルスタイン30頭、ブラマン種30頭がニュージーランド、米國から輸入されるとになっている。隊員の主な業務は酪農プロジェクトのカウンターパートに酪農経営に関する技術的助言、指導、助言を行うほか、肉用牛経営についても同様に行うと共に学生に対する授業、実習指導を行う。

1) 隊員の業務上の地位: 酪農・肥育牛プロジェクトの相談相手(テクニカルアドバイザー)

2) 技術の範囲: 乳牛・肥育牛の飼養管理, 草地改良, 乾草, サルジ, 飼料作物栽培のほか、牛乳加工及び獣医的知識と技術も要求される。

3) 業務の形態: 酪農・肥育牛プロジェクトの管理, 運営及び実習指導

4) カウンターパート等の技術水準・学歴及び年齢: カウンターパートとなる教官は酪農, 男, 35才大卒, 経験13年, 肥育牛, 男, 21才大卒経験3ヵ月。

5) 現地で利用出来る材料: 草地改良, 飼料作物栽培には大型トラクターが使用出来るが、その他殆どなし。

6) 日米専門家及び邦国人の配置: 専門家なし, 但し、米國平和部隊女性隊員(24才)他分野1人がいる。

7) 使用する言語: 一般的にはロソ語 学校では英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請。

フィリピンは乳製品の約90%を外国から輸入しているのが現状であり農林省でも酪農の普及と力を入ると共に国民の栄養改善の一つとして牛乳・牛製品の増産、普及に力を入れている。この観点から同州及び地域のモデルとなるファーム作りがあるが当面は大学自身の酪農、肥育牛プロジェクトを円滑に軌道に乗せることが先決である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 学歴: ○(大学卒業)(農学部畜産科)
- 2) 取得資格: 自動車運転免許, 家畜人工授精師(免許はなくても知識, 技術を有すること)
- 3) 実務経験: 業務内容の2)に記載の技術の範囲をカバー出来る幅広い知識と実務経験を積んでいる人であればよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年 4月 19日

131 家畜飼育

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Animal Husbandry	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	家畜飼育		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Local Government, Rural Development & Cooperative*
 (日本語): 地方行政農村開発協同組合省

ロ. 隊員勤務先名称: *Rural Development Academy Bogra* 日本語名称 (ボグラ農村開発専門学校)
 所在地: ボグラ県ボグラ 主要都市からの距離 (ダッカより222キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当国北西部の農村総合開発計画に必要な学問的研究と実地の訓練のため、世界的に有名なボグラアカデミーを模範として1975年に創設され、現在所長、副所長各1人、講師6人(将来数を増員予定)ほか職員約50人をもっている。

ニ. 設備概要: 農場面積は100エーカー強で農場責任者、副責任者各1人の下に常勤者13人と、浅井戸1基、浅井戸又基、浅井戸用モーター4台、飼料機1台、牛7頭、アヒル20羽等をもっている。

(2) 隊員の業務内容: アカデミーの農場が所有する牛(乳牛、役牛)を中心として鶏、アヒル、ヤギ等の家畜の改良品種を導入飼育し、将来的には農村への適性品種の普及を行なう

- ① 業務上の地位: 講師の待遇で主に農場を中心として協力する
- ② 技術の範囲: 上述家畜の飼育と牧草栽培ができること
- ③ 業務の形態: 農場に於けるフェロストレーションが農村への普及活動
- ④ 対象者としてカウリーレポート: 最終的な対象者は農民であり、カウリーレポートは隊員到着後レビューされる予定
- ⑤ 利用する材料: 上述設備概要のとおり
- ⑥ 農場に於ける外国人等: VSO(ケリス)の園芸・果樹の隊員1人
- ⑦ 使用言語: ベンガル語但しアカデミーの会計では英語もかなり使用される

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の畜産は自然・社会条件により改良が遅れており、改良は困難と伺う。

総合農村開発のためにボグラアカデミーが他に先かち畜産の開発・振興に注目を払っており、乳牛の改良は歓迎と予想されるが、鶏、アヒル、ヤギ、役牛の改良が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 日本での教育制度の違うおとど社会通念により、短大卒業以上の学歴(卒業後1年以上)の学歴経験を持つこと

牧草栽培の知識・経験も必要

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

132 養 鶏

記入昭和 51 年 10 月 15 日

調査者氏名 赤 星 則 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Poultry Farming	(男) 2 人	訓練開始 52 年 女 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 52 年 8~10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Development, Dept. of Agriculture
(日本語): 地域開発省 農業局

2. 隊員勤務先名称: Poultry Unit, Dept. of Agriculture. 日本語名称 (農業局 子バツ. ニサ 養鶏場)
所在地: ナパワ, マンサ. 主要都市からの距離 ナガカより 600 キロ

3. 事業規模及び内容: 現在 Katapola Farm Institute (における Animal Husbandry Section) には 鶏 380 羽, おひす 29 羽, おひす 5 羽, 豚 175 頭, 山羊 25 頭, 52 年 55 羽 いる。これは、一つの野球場位の広さがあり、かなりの収容が可能である。

4. 設備概要: 電気の設備がなく、水も充分な設備とはいえない。又 Hatchery (5000 卵) と Sitter (13500 卵) は 20km 程離れた所にあり、建設中で 2~3 年後に完成する予定の Project の 1 号

(2) 隊員の業務内容: 隊員は Kappala Farm Institute, Animal Husbandry Section に配属の予定。現在 2~3 年後完成の予定で建設中であるが、ふ化場は、まだ出来ていない。従って、現在の生産は、現在のホーター. ナガカから 週 2 回、月平均 3~4000 羽送られてくる現在の養鶏飼料量散が主な仕事。この養鶏は Lundagi, Charma (共に 20km 以上) に建てられた dirt road である為に、楽ではない。地域内の農家は、約 220 戸で、これらの面々とふ化場建設に当たって、工事の指揮も含まれる。

① 業務上の地位: Assistant Poultry Officer の将来。ふ化場が出来た時は、場長兼務。

② 技術の範囲: 現在の飼育法、鶏舎建設の知識。ふ化場完成時には、産卵機等の知識が必要。

③ 建設者としてのパート: 現在は、ユースビツ人 1 人で、あとは 35 年 - 40 年の若者。

④ 業務の形態: 上記 ③ にともない officer の助けとなると共に、業務全般を手をさされる。

⑤ 現地で利用する材料: Poultry officer は、材料持込みを必要ないと言っているが、否定的でない。

⑥ 単身個人での生活: officer であるユースビツ人のみ

⑦ 使用する言語: 英語、ニコンバ語

農家を巡回中に、家畜等がいらない場合、英語が通じないことがある。この時、簡単なニコンバ語が必要。例えば officer は、毎週 1 回、1 日働いているが、英語がダメな時は、ニコンバ語で指示している。各詞程度で、緊急時後、可能。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ふ化場建設計画に参加することは、当然であるが、隊員は、それぞれの農家を巡回し、適切な飼育指導を行うと同時に、この地方の養鶏業全般を助けることか予期され、期待は、非常に大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

* 現在の飼育法を知っている事。現場経験 2~3 年程度が必要。かつ、広範囲に亘る知識が必要。
運転免許は必須。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和53年9月13日

132 養

鶏

調査者氏名 熊野秀一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラディシュ	(現地公用語) Poultry	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Krishi Bank (BKB), Ministry of Finance
(日本語): 大蔵省 バングラディシュ農業銀行 (BKB)

ロ. 隊員勤務先名称: Phoenix Poultry Limited 日本語名称 (フェニックス養鶏会社)
所在地: 7.01 米 23.11 街 バドガル村 主要都市からの距離 (ঢাকাより 7 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 上記勤務先は今から設立される会社で、計画では資本金として1億円強と予定
17名、55%が個人(社長)の投資で、45%がBKBからのロ-ン貸出を受ける。なお、この会社設立
が実現すれば、当地唯一の本格的養鶏会社となる。

ニ. 設備概要: 敷地面積は12.5エ-カ-有だが事務所・鶏舎等建物は全て今から建設される予定であ
り敷地の中には盛土と要する部分もあるがBKB関係者は今年中に完成すると見られている。

(2) 隊員の業務内容: 計画では本格的な、成長段階で16万8千羽の肉鶏と5千羽の肉卵兼用鶏と
飼育することになっているが、隊員はこの全てに肉用業務のため若年者20名程度と会社約50人
の社員の技術上の管理に当たる。

イ. 業務上の地位: 養鶏場マネ-ジャ-の補佐

ロ. 技術の範囲: 上述のとおり大規模養鶏場の管理運営に必要な全ての工程と技術。

ハ. 業務の形態: 養鶏場敷地内に建設予定のJOCV用宿舎に起居し現場勤務に当たる。

ニ. 対象者及びカ-リ-ヤ-: 農業大学卒業のマネ-ジャ-カ-リ-ヤ-で、実際に作業する若
幼者は養鶏の工程・技術は含めない。

ホ. 利用する材料: 孵卵器(電気)、保育器(電気)および Poultry Dressing

ヘ. 持参する用具等: なし

ト. 使用する言語: ベンガル語、ヒンディ語もかなり使用される

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: BKB関係者特に総裁のJOCVに対する評価、期待は非常
に大きく、技術面でのマネ-ジ-メント、関係者の訓練等を含め企業として成立させるための全
ての面に期待されている。

実際には隊員着任後に4ヶ月ほどこの会社が動き出すという雰囲気である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): BKBが提示した資格条件は大学又は
大学院畜産学科卒業で養鶏場での業務経験最低5年間必要としている。

(注) 実際には上述の内容をやり遂げようとする自信のある人ならば、当地の受入には支障がな
いだろう。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

135 獣

医

記入昭和 51 年 4 月 13 日

調査者氏名 東原裕樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア 共和国	(現地公用語) Veterinarian	(男) 人	訓練開始 昭和 51 年 10 月
	(日本語) 獣医師	(女) 人 (どちらでも可) 2	派遣予定 昭和 52 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform.
(日本語): 農業農地改革省
- ロ. 隊員勤務先名称: Animal Health Division of State (日本語名称 (国営酪農場衛生部))
所在地: Dairy Station - Hama (主要都市からの距離 (約) 250km)
- ハ. 事業規模及び内容: 1976年~1980年の5ヶ年計画により、国内の各地50ヶ所に国営酪農場を開設する。各酪農場には平均1000頭のフリーゼンまたはホルスタインを飼育し、牛乳・バター・チーズの生産を目的とする。提携するプロジェクトは、
- ニ. 設備概要: 現在付帯施設として、牛舎、乳搾り機、乳処理機、乳検査室、牛舎の他に農場を開設する。最小限の機械は、乳搾り機、乳検査室、牛舎の他に農場を開設する。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 獣医師
- ② 技術の範囲: 乳牛の診療、人工授精、心妊娠判定、現代人取分の指導
- ③ 業務の形態: 隊員は現地の農場へ1名ずつ常駐し、現代人と共同で日本人獣医師として当該酪農場の運営に参加する。協力隊員として同時に要請されている畜産技術者の心遣いも考慮し、協力して働くこととなる。

- (1) ④ 対象者及びその年齢・性別・学歴及び教育: 不明
- ⑤ 現地で利用可能な機械: 不明
- ⑥ 取組むべき事項及び国内からの配置状況: シリア政府は、ヨーロッパ諸国に対してと同様に獣医師の心遣いを要請している。本5ヶ年計画のプロジェクトには、日本の折田孝内蔵が参加している。⑦使用言語: 英語、アラビア語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国内(特に北部)には牧場適地が多く、シリア政府は本年開始の5ヶ年計画に期待している。獣医師の極度に乏しい当国では、本計画のプロジェクトに日本人が参加していること、日本からの獣医師心遣いを強く望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で明記すること):

学歴: 大学獣医学部卒。取得資格: 獣医師
東原裕樹: 1944年、大学卒業。現在は病理学専攻の助手。学歴等直行形は不明。年齢不同。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

160 森林 経営

記入昭和 53 年 10 月 5 日

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Forestry	(男) 1 人	訓練開始 54 年 4 月
	(日本語) 森林経営-(B.A)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 54 年 8 月 受入期限 4 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 (造林計画)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mambusao Agricultural and Technical College (M A T C)
(日本語): マンブサオ農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: Mambusao Agricultural and Technical College (日本語名称 (同上))
所在地: Mambusao Capiz 州 主要都市からの距離 (州都より約 50 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業科, 農業教育科, 農業家庭科及び修士コース(2年制), 農業教育科, 農業家庭科を有する4年制農科大学のほか、2年制農業技術者コース, 森林保護(農林業)コースと4年制高校が付属している。同大学の学生総数は現在1,600人で教員総数71名である。

ニ. 設備概要: 一般教室のほか、図書室及び育苗施設, 農業気象観測施設, 天然資源省の森林(林業)研究所が併設されている。山林用地は現在開発をすすめている 300ha の additional area として

(2) 隊員の業務内容: 3000ha ~ 5000ha が予定されている。

College Campus から 1/3 以上の所に現在約 300ha の山林用地があり、特に 8ha についてはヒールヒール(家畜の飼料用)コーヒー、バナナの混合植林が完了している。外、additional area として 3000ha ~ 5000ha が予定されている。隊員の主な業務は林業プロジェクトのカウンターパートに対し、立地帯及び山林用地を立地条件に適した形で用途別森林資源の開発(山地を有効に活用する形式の植林計画及びその管理、保護)についての指導、助言を行うと共に学生に対する授業、実習指導を行う。

1) 隊員の業務上の地位: 林業プロジェクトの相談相手(テクニカルアドバイザー)

2) 技術の範囲: 山林用地の有効利用とヒールヒール造林計画の立案、苗木の育成、植林、森林保護の知識と技術。

3) 業務の形態: 林業プロジェクトの管理、運営及び実習指導。

4) カウンターパート等の技術水準・学歴及び年齢: カウンターパートとなる教官は、男(24才) 大卒(BSF) 経験 2 年。

5) 現地で利用出来る器材: 植林用の小型農具のみ。(育苗用のビニールポットを念)

6) 日本専門家及び邦国人の配置: 専門家なし、但し、米国防務部隊、女性隊員(24才) 他分野 1 人がいる。

7) 使用する言語: 一般的にはイロコ語、学校では英語。

新規要請)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 比国は山林用地と判得るハゲ山(野草程度しか植生していない)が多く、天然資源省では森林資源の確保をめとし、緑化運動として造林を推進しているがまだほとんど効果があがっていないのが実情である。このような観点から同大学では恵まれた山林用地(ハゲ山)の有効利用(立地条件に適した形式の用途別森林資源の開発)による林業経営の方式を同州及び地域に普及推進することにあるが、とりわけこの大学内の林業プロジェクトを軌道に乗せることが先決である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1) 学歴: (大学卒業)(農学部 林学科)。

2) 取得資格: 測量士の資格はなくても森林測量の知識、技術も有ること。

3) 実務経験: 山林用地(殆んどハゲ山)を立地条件に適した形で有効に活用(用途別森林資源の開発)するアイデアを出せる人で、業務内容(2)の技術の範囲をカバー出来る知識と実務経験がみればよい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和52年10月21日

170 漁具 漁法

調査者氏名 小崎 隆一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サエド	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 52年 4月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 53年 8月
	(どちらでも可) 人		受入期限 53年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Economic Development*
 (日本語): 経済開発省

ロ. 隊員勤務先名称: *Fisheries Division* 日本語名称 (水産局))
 所在地: *Apia* 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本に比べて非常に少ない。独自の建物を持ち、西サエド、
 おける水産行政を行っている。現在首都アピヤの中にあるが、近い将来サベ島に
extension office の開設を予定している。スタッフは、水産局長以下8名、漁師約15名。

ニ. 設備概要: 火器は、10名程の備蓄を計っている。87台 (木造船外機) 2隻
 42ポットボート1隻 (700L、34hp) / 30ポットボート2隻 (1隻は木造、1隻は鉄造)

(2) 隊員の業務内容: 日本に経験者なし。53年3月19日、87台の船外機 (船外機) (木造、29hp) が到着予定

- ① 現地人スタッフと同等の地位にあり
- ② 技術の範囲: 漁法に関する、トローリング及底魚釣、刺網 (ト) フリカ、一本針網
 を中心に、現地漁法に関する、スノープガンと簡単なヤド (漁網)
 に関する指導、加工製法、漁獲方法等の指導 (3月1日、船外機)

③ 業務の形態: 現場指導型

④ 対象者及びノウハウ: 日本から対外的技術の水産技術: 火器から、水産
 の技術水準、学歴の対応: 意欲旺盛である。現地の西サエド大学農学部
 を卒業した人、専門知識は少ない。又、知識については、
 研究を受けた人の知識と現地の人は水産中である。
 年令的には、25~29才程度が多い。

⑤ 現地の利用可能な機材: 隊員が専門で使用できる船外機2隻 (トローリング
 あり) あり。船外機、木造船外機、材材は豊富に
 あり。新隊員の取組む方針として、使用可能な機材
 材は、着任後必要に応じて新機材の申請 (必要ない)

⑥ 現場における日本人及び日本籍の配置状況: TAOのサポート1人 (1人1人)

⑦ 使用言語: 英語、サエド語。 P40: 22-3%, TOC 5%, JICA 3% (29%)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地の漁具漁法は、(即ち、日本の近代漁法を輸入して、大規模
 製造を望んでいる。昔は、今は製造を望んでいる。カワチ島の金魚仔の育成を望んでいる
 漁具、漁法に関する。日本に経験者なし (1987年) と同じ。心付くように、
 派遣員は、JICAの、一着の指導に望んでいる。大規模製造を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 2人希望、総額金50人希望。

特に、経験は、内閣府。又、今は、漁具の資格より、天候の悪化を望んでいる。
 望んでいる。併せて、カワチ島の金魚仔の育成を望んでいる。日本政府の、
 5名 (1987年) の、果敢と、望んでいる。望んでいる。西サエド人を望んでいる。
 し。自然条件の、精神、と、仕事に、望んでいる。望んでいる。